

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校は日本のESD推進の先駆的実践校としてD-ESDの当初より「ESDに基づく学校づくり」を研究テーマに掲げ、実践研究を続けてきた。

一昨年、D-ESDの最終年を迎え、これまでのESD研究の一応の区切りとしての研究会を開催した。その中で、この10年の卒業生を集めた「中学校での学びと私のESD」というシンポジウムを開催した。そこで語られる卒業生のさまざまな語りを通して、彼らの価値観変容のようすを知ることが出来た。ESDの学びにおける変容はすぐにあらわれるわけではない。しかし、卒業生の語りの中からは、教師の与えた「問い」から、学びを通して子ども自らが新たな「問い」を立て、そこから新しい学びが広がっていく姿が実感できた。

そこで本年度からは、こうしたESD研究の成果を受け、それを継承しつつ、新たに「開かれた関係を築くコミュニケーション能力の育成」を研究テーマとして継続的な研究活動を進めている。本年度はサブタイトルとして「子どもたちのナラティブからESDの価値観形成へ向けた創造的な教育実践を構想する」という具体的目標のもと、主に次のような実践研究を行った。

- ①各教科における子どもたちのナラティブ変容を大切にした授業づくり
- ②①と総合的な学習との往還をはかり、トータルとして子どものナラティブ変容を分析整理する。(主に「平和の集い」と「沖縄修学旅行」を中心に)
- ③ESDの視点に立った道徳性の育成についての実践的研究
(仮称 「ESD道徳」の実践の試み)
- ④韓国交流における子どもたちの変容とそれを生かした活動づくり

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()